

# 様態を表す「V上」と「V起来」の比較研究

鄧 鷗

## Abstract

According to Chinese grammar rules, “shang(上)” and “qilai(起来)” are originally used as verbs. Both “shang(上)” and “qilai(起来)” can show a movement from a lower to a higher place or position. But there are many differences between “shang(上)” and “qilai(起来)” in meaning and grammar. To describe the status of a verb, “Shang(上)” and “qilai(起来)” are often put after the verb as “V上” “V起来”. However, in some cases, the position of “V上” in a sentence can be interchanged with “V起来”. But in some other cases, the position of “V上” in a sentence cannot be interchanged with “V起来” at all. It is because “V上” can often be used to describe the continuation of the state, but “V起来” is more often used to describe the beginning of a state.

キーワード……様態 V 上 起来

## 1 はじめに

中国語において動詞は品詞の一つであり、主に動作を表し項として主語や目的語などの名詞句をとる語である。そのなかで、動詞は述語の様態を表す例が多い。様態を表すとき、ある動詞（V1）はほかの動詞（V2）の後ろに置かれ、「V1V2」のカタチで、述語の様態を表す例が多い。

動詞「上」も動詞「起来」もともに「下から上へ」という移動を表すことができるが、しかしながら、両者は文中での役割や文法面で明確な違いがある。例えば、様態を表すとき、「V上」と「V起来」が置き換えられる場合があり、置き換えられない場合もある。さらに、「V上」或いは「V起来」しか使えない例もある。本稿では様態を表す「V上」と「V起来」の異同を明らかにしたい。

## 2 先行研究と問題点

### 2.1 「様態」について

中国語における「様態」とは、人間或いは物事が現れるカタチや状態などである。日本語においては、「様態」とはモノのあり方や行動のありさま、状態あるいは様相である。

中国語のなかで様態を表すときは、動詞と形容詞がよく用いられる。

## 2.2 「V上」について

呂叔湘(1980)は、「上」は動作の開始と持続を表すことができると論じた<sup>1)</sup>。

以下の例文を見てみよう。

会还没开，大家就议论上了。

(會議がまだ始まらないうちに、皆議論し始めた。)

大家劝你休息一会儿，怎么又看上书了。

(皆がしばらく休憩しようと言ったのに、なんでまた本を読んでいるの。)

外面飘上雪花了<sup>2)</sup>。

(外では雪が舞い始めた。)

劉月華(1989)は「上」は趨向補語として、人或いはモノが低い所から高い所へ移動することを表すと論じた。「上」は様態義をもって、動作や状態の開始を表すことができる。

## 2.3 「V起来」について

劉月華(1989)は、状態を表す「起来」は「静態・マイナスの状態」から、「正向・プラスの状態」への変化を表すと論じた。様態を表すとき、「起来」は中性的な動詞と判断し、感情を表示しない<sup>3)</sup>。

荒川清秀(2003)は、「起来」は方向補語の派生義の代表的なものと論じている。

「起来」は三つの意味に分けることができる。そのなかの一つは「開始」である。

妈妈突然笑起来<sup>4)</sup>。(母はいきなり笑い出した。)

張竹翠(2007)は、「起来」は動作の開始と持続を表すと論じた。

「起来」と動補構造の共起関係について、動補構造に起点→持続部分→終点というプロセスがあれば、「起来」と共起することが可能であると考えられる。複合変化類の動補構造は意味構成に漸次変化的性質を含んでいるため、「起来」と共起できる。単純変化類の動補構造はその補語成分が動詞であっても、形容詞であっても、その意味構成に漸次変化的性質を含んでいないため、「起来」と共起できない。

「起来」と本動詞が共起することによって、「起来」は三つの意味を表す。一つ目は本動詞の動作自身の開始と持続であり、二つ目は同じ動作主或いは複数の動作主による反復であり、三つ目はもともとなかった動作が新たな動作に変化し持続することである。この三つの意味は一つの総体を成している。

## 2.4 問題点

先行研究のなかで、「上」についての研究は、「上」が動詞の後ろに置かれ、動作の開始と持続を表すことを明らかにしているが、様態を表すとき、「上」と共起できる動詞及びその動詞の分類・特徴等には詳しく言及していない。「起来」の場合には、様態を表す「起来」と共起できる動詞及びその動詞の分類・特徴に関する研究はさらに少ない。特に、様態を表す「V上」と「V起来」に関する比較研究はほとんどない。様態を表す「V上」と「V起来」のそれぞれの文法的使い分けと意味的分析をさらに明確に示す必要があると思われる。

## 3 様態を表す「V上」と「V起来」について

様態を表すとき、「V上」と「V起来」は置き換えられる場合がある。しかしながら、置き換えられない場合もある。

### 3.1 「V上」と「V起来」が置き換えられる場合

以下の例文とその分析を見よう。

(1) a. 两位家长在学校门口相遇，孩子尚未放学出来，于是他们便聊上了。(CCL<sup>5)</sup>)

(二人の保護者は学校の門の前で出会った。子供たちはまだ学校がおわっていないので、二人は話をはじめた。)

b. 两位家长在学校门口相遇，孩子尚未放学出来，于是他们便聊起来了。(訳文は1a同様)

例文(1a)では、「上」は「聊」の後ろに置かれ、「聊」（話をする・話し合う・しゃべる）という動作の開始を表している。「聊上了」では、その前に二人の保護者が話していなかったという様態を表現する。例文(1b)の「聊起来了」は「聊」という動作の開始を表すだけではなく、「聊」という動作がしばらく持続することも表す。そして、「聊上了」は二人の保護者が自発的に話し始めることを表す。また、話の話題を深く掘り下げることも含意する。「聊起来了」は話をし始めることを強調した上、話題の展開や二人の声が大きくなることも表す。

(2) a. 戏迷一看就想起时慧宝的《朱砂痣》，又唱上了。(CCL)

(あのファンは時慧宝さんの『朱砂痣』を聞くと、また歌いはじめた。)

b. 戏迷一看就想起时慧宝的《朱砂痣》，又唱起来了。(訳文は2a同様)

例文(2)では、「上」「起来」は「唱」の後ろに置かれ、もとは「唱」（歌う）という動作の開始を表す。「又唱起来了」「又唱上了」は歌うという動作の再開を表す。例文(2a)では、「唱上了」はファンが歌っていない様態から歌っている様態になることを表す。例文(2b)では、「唱

起来了」は、歌うという動作の開始だけではなく、「歌っている」という状態がしばらく持続することも表す。

(3) a. 要是考 100 分，她早在楼道里就嚷嚷上了。（CCL）

（もし満点を取っていたら、彼女はとっくに廊下でわめいて大さわぎしているよ。）

b. 要是考 100 分，她早在楼道里就嚷嚷起来了。（訳文は 3a 同様）

動詞「嚷」は大声でさげぶことである。「嚷嚷」は疊語であり、「嚷」の動詞連用形である。「嚷嚷」と「嚷」の意味は同じである。例文(3a)の「嚷嚷上了」では、彼女がわめいていなかったが、今はわめいている様態になっていることも表す。さらに、「嚷嚷上了」は彼女が満点を誇って、調子に乗る様子を表すこともできる。例文(3b)では、「嚷嚷起来了」は大声をあげるとい動作の開始を表す一方、彼女の声がどんどん大きくなることも表している。

(4) a. 他又坐回来，喝上了酒，「Jerry，你得知道，我还有办法。」（CCL）

（彼はもとの位置に座って、お酒を飲み始め「ジェリーさん、知っていると思うけど、僕にはまた他の方法があるんだ」と言った。）

b. 他又坐回来，喝起了酒来，「Jerry，你得知道，我还有办法。」（訳文は 4a 同様）

例文(4a)では、「上」は「喝」の後ろに置かれ、「喝」（飲む）という動作の開始と持続を表す。「喝上了」は「彼がその前は酒を飲んでいない状態である」ということを提示しながら、「彼は今お酒を飲んでいる状態になっている」ということを表す。(4b)では、「起来」は「起…来」の形式で用いられる。「喝起了酒来」は酒を飲むという動作の開始を表し、彼がしばらくお酒を飲み続けることも表す。「喝上了酒」「喝起了酒来」は「一気に飲んでしまう」ということではなく、「お酒をどんどん飲んでいる」ということを表す。つまり、「喝」という動作の持続を表す。

(5) a. 一家人在酒店办了几桌喜宴，居然发现一桌“蹭吃帮”，坐在那里大摇大摆吃上了。（CCL）

（ある家族はホテルで祝宴を開いた際、ただ飯を食う人たちを見た。やつらはあたりをはばからず、料理を食べていた。）

b. 一家人在酒店办了几桌喜宴……坐在那里大摇大摆吃起来了。（訳文は 5a 同様）

「吃上了」も「吃起来了」も「食べていない状態から、食べている状態になる」ことを表す。例文(5a)の「吃上了」は「ただ飯を食う人たちはもう食べている状態になっている」ことを表現する。例文(5b)の「吃起来了」は「食べていない状態から、食べはじめる」ことを強調する。

さらに、「吃起来了」は「食べ始める状態から思いきり食べる状態になる」という変化も含意する。例文(4)と同じく、「吃上了」「吃起来了」は「吃」という動作開始だけでなく、その動作の持続も表す。

- (6) a. 一说到老全，我们两个都呜呜地哭上了。（余华《活着》）  
 （全さんのことが話題になると、僕たちはおいおいと泣き出した。）  
 b. 一说到老全，我们两个都呜呜地哭起来了。（訳文は 6a 同様）

「哭上了」も「哭起来了」も「泣いていない状態から泣いている状態になる」ことを表す。例文(6a)では、「哭上了」はすでに泣いている状態になっていることを表現する。例文(6b)の「哭起来了」は、悲しくなって、泣き声が大きくなることを表現する。

以上の例文からみると、様態を表す「V 上」と「V 起来」が置き換えられる場合では、「V 上」と「V 起来」は動作・状態の開始を表す例がよく見られる。「V 上」「V 起来」と共起できる動詞の種類から見ると、持続動詞の方が多い。状態の開始を表す場合では、「V 上」と「V 起来」はその状態がしばらく持続することを表す。「V 上」は新たな動作・状態の持続を重視する。「V 起来」は動作・状態の変化を重視し、新たな状態の展開も重視する。

### 3.2 「V 上」と「V 起来」が置き換えられない場合

様態を表す「V 上」と「V 起来」が置き換えられない場合もある。

以下の例文を見よう。

- (7) a. 一九三〇年夏天，他迷恋上了语言学，于是便全力以赴，写本小说。（CCL）  
 （一九三〇年の夏、言語学に夢中になったので、彼は全力で一冊の小説を書いた。）  
 b. \*一九三〇年夏天，他迷恋起来了语言学，于是便全力以赴，写本小说。

例文(7a)では、「上」は「迷恋」の後ろに置かれ、「迷恋」（夢中になる）という状態の開始とその持続を表す。彼は言語学に夢中になり、小説を完成するまで、ずっと言語学が好きということが分かる。例文(7b)では、「起来」は状態の変化と展開を重視している。しかしながら、「小説を書く」は「迷恋」の結果であり、「迷恋」の変化や展開ではない。それゆえに、「迷恋起来了语言学」は不自然な文である。

- (8) a. 她听着对面热情奔放的歌声，心里早已倾慕上了。（王小波《歌仙》）  
 （向かい側から情熱的な歌声が聞こえてきた時には、彼女はとっくに心から慕う気持ち

が芽生えていた。)

- b. \*她听着对面热情奔放的歌声，心里早已倾慕起来了。

(8a)では、「上」は「倾慕」の後ろに置かれ、「倾慕」（慕う）という動作の開始と持続を表す。「倾慕上了」は、「彼女は歌う人のことを慕い続ける」という状態を表す。「早已倾慕上了」を分析すると、「彼女は歌を聞きながら、歌う人のことがだんだん好きになる」、「いま現在彼女はもうその人のことが好きになっている」ということが分かる。(8b)では、「起来」は動作の開始と展開を重視する。しかしながら、彼女はもうその人のことが好きになっているので、「倾慕」（慕う）という動作は既に開始している。「倾慕」の展開もすでに終わっている。以上の理由から、(8b)は不自然な文である。

- (9) a. 美国一名男子在乘坐航班时谎称自己染上埃博拉病毒。（《温州商报》）

（アメリカの男性は飛行機に乗るとき、自分がエボラに感染していると嘘をついた。）

- b. \*美国一名男子在乘坐航班时谎称自己染起来埃博拉病毒。

例文(9)では、「染」は「感染」の意味である。例文(9a)では、「染上了」はアメリカの男性がもうエボラに感染したということを表す。すなわち、この男性は感染者になっているという状態が分かった。「感染」とは、病原体の人体への侵入と定着・寄生の過程である。人間が無菌である状態から感染する状態への変化も「染」、病原体侵入から治るまでの全過程も「染」（「感染」）と判断される。つまり、「染」（「感染」）という動詞は「展開」より、ある状態になることを重視している。しかしながら、「起来」は開始と展開を重視するものなので、例文(9b)は不自然な文である。

- (10) a. 那个公司盯上小王的研究成果了。

（あの会社は王さんの研究結果を狙っている。）

- b. \*那个公司盯起来小王的研究成果了。

「盯」は狙うという意味である。例文(10a)では、「盯上了」はあの会社が王さんのことを知らず、彼の研究結果にも注目していない状態から「王さんの研究結果に注目した」、「王さんの研究結果を狙っている」までの状態変化を表す。特に、「王さんの研究結果を狙っている」ことを強調している。例文(10b)では、「起来」は動作や状態の展開の瞬間を重視している。「盯」（狙う）という動作は開始した後、具体的な変化や展開はない。したがって、「盯起来了」は意味的に通じず、例文(10b)は不自然な文である。

「V上」しか使えない例文はこれまで見てきたが多いが、「V起来」しか使えない例文もある。

- (11) a. 顿时胖子就在坡道上滚了起来, 一路把那些尸体撞的七零八落。(南派三叔《盗墓笔记》)  
 (太っちょは急に坂で転がりはじめ、坂にあった死体にぶつかった。)  
 b. \*顿时胖子就在坡道上滚了上来, 一路把那些尸体撞的七零八落。

「滚」は転がるという意味である。(11a)では、「坂を転がる」動作は、スピードがますます速くなる動作であることが分かる。(11a)の場合では、「滚」(転がる)という動作は始まりの時点から激しくなることを表す。それに対して、動作の開始とその後の展開を表すとき、「起来」は動作の展開を重視するので、例文(11a)の「起来」は適当である。例文(11b)の「上」は本来「低いところから高いところへ」という動きを表している。「上」と共起できる動作動詞はほとんどが上への方向を示す。動作動詞「滚」(転がる)は「からだを横にして、ころころと回転しながら進む」という動作を表す。「滚」の方向は上に限らず、全方位に可能である。以上の理由で、例文(11b)は不自然な文である。

- (12) a. 长生见了他的笑容,倒犹疑起来,颇有点拿不定主意。(楚惜刀《魅生》)  
 (彼の笑顔を見ると、長生は躊躇して、決心しかねた。)  
 b. \*长生见了他的笑容,倒犹疑上来,颇有点拿不定主意。

「犹疑」は躊躇の意味である。例文(12a)では、「起来」は「犹疑」の後ろに置かれ、「犹疑」という動作の開始と持続を表す。「犹疑起来」とは、「ぐずぐずして、あれこれ迷って決心できない・躊躇している」様子である。長生の考えは短時間内にあれこれに変化しながら展開している。「起来」は動作の展開を重視するので、「犹疑起来」は適当である。例文(12b)では、「上」は状態の持続を重視する。例文(12b)の場合では、「犹疑」(躊躇する)という動作は長く持続することがないので、例文(10b)は非文になる。

### 3.3 分析

以上の例文の分析を踏まえると、「V上」と「V起来」が様態の開始と持続を表すとき、「V上」は「もとの動作・状態から新たな動作・状態になる時点」を焦点とみなす。さらに、「新しい動作或は状態がうまく続けることができるかどうか」を重視する。つまり、「V上」は新たな様態の持続性を重視する。「V起来」は「もとの動作・状態から新しい動作・状態になった後、どのような変化があるのか」を焦点とみなす。特に動作が大きくなることや状態の勢いが強くなることを重視する。つまり、「V起来」は新たな様態の展開を重視する。

様態を表すときにおける「V上」と「V起来」の特徴を以下の図1に示す。

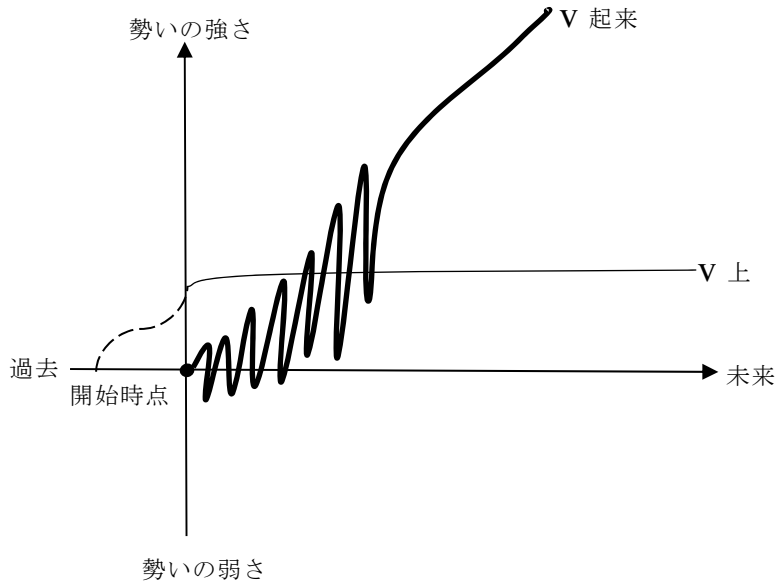


図1：「V上」と「V起来」の特徴（出所：筆者作成）

図1に示すように、直角座標系の縦軸と横軸の交差点は動作あるいは状態の開始時点である。開始時点の左の部分は過去の時間を示す。開始時点の右の部分は未来の時間を示す。開始時点の上の部分は動作・状態の勢いの強さを示す。開始時点の下の部分は動作・状態の勢いの弱さを示す。細い曲線は「V上」を示す。太い曲線は「V起来」を示す。

「V上」と「V起来」は様態を表すとき、両方とも動作あるいは状態の開始とその持続を表す。「V上」は、もとの動作・状態を意識しながら、新たな動作・状態の持続を表す。特に、新たな動作・状態が安定的に持続することを表している。そのため、「V上」の曲線は過去の様態（虚線の部分）も新たな様態（実線の部分）もある。

「V起来」は動作の勢いが弱い方から強い方に進むという変化を表すだけでなく、新たな動作・状態の展開も表す。「V起来」は動作の変化を表すとき、動作の勢いが強かったり弱かったりを繰り返しながら、だんだん強くなることを表現する。「V起来」は新たな状態を表すとき、その状態が始まりの時点から、だんだん深まっていくことを表現している。そのため、「V起来」の曲線は強い方向に向かうように展開する。

動詞「V」の特徴は、表1：様態を表す「上」と共起できる動詞「V」と表2：様態を表す「起来」と共起できる動詞「V」に示す。



表1：様態を表す「上」と共起できる動詞「V」

動作を表す動詞	音声・言語を表す動詞	心理活動・感情を表す動詞
盯, 打, 吃, 喝, 说, 端, 搞, 烤, 杠, 闹, 染, 拉(关系), 扯, 演, 拉扯, 眯, 扮, 勾搭……	聊, 嚷, 唱, 吵, 骂, 念, 拉(家常), 扯, 吼, 凶, 喊, 叫, 打(喷嚏・呵欠) 奏……	染, 爱, 恨, 好, 迷恋, 倾慕, 笑, 乐, 急, 恋, 迷, 喜欢, 想, 记, 惦记……

(出所：筆者作成)

表2：様態を表す「起来」と共起できる動詞「V」

動作を表す動詞	音声・言語を表す動詞	心理活動・感情を表す動詞
盯, 打, 说, 吃, 喝, 闹, 滚, 发, 端, 烤, 写, 画, 敲, 浇, 搓, 擦, 过, 旋转, 哆嗦, 发作, 喘, 飘, 痉挛, 蠕动, 摸索, 摇晃, 抽搐, 忸怩, 活动, 沉默, 默写, 寻找, 搞, 演, 提, 导, 钻研, 勾搭, 勾结, 发展……	聊, 嚷, 吵, 骂, 喊, 叫, 吼, 唤, 拉(家常), 哼, 提, 问, 打听, 凶, 劝, 拌(嘴), 奏, 响, 打(喷嚏・呵欠) 读, 吟, 诵, 嚎, 鸣叫, 狂吠, 吆喝, 啜泣, 呻吟, 咳嗽, 商量, 嘀咕, 絮叨, 争辩, 叹息……	染, 爱, 恨, 好, 迷恋, 倾慕, 哭, 笑, 乐, 快乐, 欢喜, 愉快, 高兴, 兴奋, 平静, 急, 感动, 惊奇, 得意, 恼, 恼怒, 别扭, 敬重, 痛苦, 害怕, 想, 考虑, 思考, 沉思, 回忆, 困惑, 紧张, 犹豫, 怀疑, 焦虑, 不安, 羞涩, 患得患失, 疑神疑鬼, 神经兮兮……

(出所：筆者作成)

表1と表2における動詞「V」は三種類にわけることができる。まず、様態を表す「上」「起来」と共起できる動詞「V」はすべて持続動詞である。また、「上」の場合より、「起来」と共起できる動詞の数が多い。そして、心理活動・感情を表す動詞のなかで、「上」と共起できる動詞「V」は積極的な動詞である。「起来」の場合では、積極的な動詞に限らず、消極的な動詞も「起来」と共起できる。

#### 4 まとめ

様態を表すとき、「V上」と「V起来」が置き換えられる場合もあれば、置き換えられない場合もある。

以上の例文と分析における「V上」と「V起来」のそれぞれの特性は以下のようにまとめることができる。

まず、「V上」は新たな動作・状態の持続を重視する。「V起来」は新たな動作・状態の展開を重視する。また、「上」「起来」と共起できる動詞「V」では、「V」は持続動詞の方が多。そして、「上」は積極的な動詞と共起する例は多いが、消極的な動詞と共起しにくい。「起

来」は積極的な動詞に限らず、消極的な動詞とも共起できる。

今後は「V上」と「V起来」を中心に、動詞「V」の分類をさらに詳しく分析しながら、「上」「起来」と動詞「V」が互いに及ぼす影響について検討したいと思う。

#### <注>

- 1) 「V上」は動作の開始と持続を表し、開始ということ強調する。動詞と「上」の間には「得」或いは「不」が挿入することができない。
- 2) ここまでの例文は呂叔湘（1980）によるものである。
- 3) 劉月華（1998）は、「上」も「起来」も様態を表すことができると指摘する。様態を表すとき、「上」も「起来」も新たな状態に入ることを表す。「起来」と比べると、「上」は感情を表現することができる。特に、「上」は話者が新たな状態に納得できないという感情を表現する。
- 4) この例文は荒川清秀（2003）によるものである。
- 5) CCLは北京大学言語学研究センターのデータベースである。

#### <引用文献>

- 荒川清秀 2003, 『一步すすんだ中国語文法』, 大修館書店。  
荒川清秀 2015, 『動詞を中心にした中国語文法論集』, 白帝社。  
木村恵介 2006, 「動補型複合動詞の構造」, 『千葉大学ユーラシア言語文化論集』第9号, 77-92頁。  
呂叔湘 1980, 《現代漢語八百詞》, 商務印書館。  
劉月華 1989, 《漢語語法論集》, 現代出版社。  
劉月華 1998, 《趨向補語通釋》, 北京語言文化大學出版社。  
佐藤春彦 1976, 「<開始>について」, 『人文研究』第28巻, 第4分冊, 大阪市立大学文学部, 24-40頁。  
高橋弥守彦 2000, 「“上”+場所語における“上”の日本語訳について」, 『日中言語対照研究論集(2)』5号, 72-90頁。  
高瀬利恵子 2003, 「現代中国語における補語“上”の状態義」, 『平井勝利教授退官記念・中国学・日本学論文集』, 188-203頁。  
王志英 2006, 「中国語の“起来”についての意味分析」, 『中国語研究』第48号, 24-40頁。  
朱繼征 2000, 「「～着」と「～了」の文法的使い分けと意味的分析を中心に」, 『中国語の動相』, 75-96頁。  
朱繼征 2004, 「中国語の起動相について—“开始～”“～起来”の文法的使い分けと意味的分析を中心に」, 『中国語学』251号, 114-135頁。  
張竹翠 2007, 「特殊例から考えるアスペクトを表す「起来」」, 『お茶の水女子大学中国文学会報』26号, 100-88頁。

#### <例文出典>

- CCL: 北京大学言語学研究センターのデータベース  
([http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl\\_corpus/index.jsp?dir=xiandai](http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=xiandai))  
《盜墓筆記》: 南派三叔, 中国友谊出版公司, 2007年。  
《活着》: 余华, 上海文艺出版社, 2004年。  
《歌仙》: 王小波, 陕西师范大学出版社, 2009年。  
《魅生》: 楚惜刀, 新世界出版社, 2013年。  
《温州商报》: 温州日报社, 2014年10月12日。

出典がない例文と日本語訳はすべて筆者によるものである。

主指導教員（朱繼征教授）、副指導教員（大竹芳夫教授・土屋太祐准教授）